

Imagine all the people Living life in peace

朝日新聞に「ジョン・レノン没後30年にヒロシマ賞を受賞 オノ・ヨーコさん」という記事があった。受賞式は来年7月だという。

ヒロシマ賞の目的(概要)は、最初の被爆都市として世界の恒久平和の実現を願う広島市が希求するところを、現代における美術の領域においても広く世界に知らしめ、人類相互の理解の促進に努め、もって世界平和と繁栄に寄与すること。世界の平和と人類の繁栄を願う「ヒロシマの心」の意義を、美術の領域において広島市民に紹介することで、地元の美術文化の今後のより一層の発展を図ること、となっている。

残念ながら現実には、世界の平和と人類の繁栄を願う「ヒロシマの心」は伝わっていない。むしろ、ドンドン戦争へ向かって突き進んでいる。

米国は、北朝鮮の韓国・延坪島砲撃後の米・韓 合同軍事演習に「過去にとられないことが重要」として、日本に合同軍事演習への参加を要求した。

さらに民主党政権内には「兵器の国際共同開発、生産が必要」、「北朝鮮の核開発には核抑止力が必要」、「朝鮮半島有事の際、拉致被害者救出のために自衛隊が、韓国を通過して行動できるルールは決まっていない」として、自衛隊を北朝鮮に送り込むことを検討しなければならない、との考えがある。

2001年9月11日の米国への「同時多発テロ」で米・英 が直ちに報復の戦争を開始し、日本も参戦した。この時 JR東海労は、いかなるテロにも戦争にも反対することを明らかにした。今もその考えに変わりはない。

見出にある「Imagine all the people Living life in peace」は、イマジンの歌詞の一部で、その意味は「想像してごらん すべての人々が 平和な暮らしを送っていると (ジョン・レノン ギム・サム・トゥルースより)」だ。

12月8日は、ジョン・レノンが狙撃によって殺害された日であり、真珠湾攻撃の日でもある。平和は願っているだけでは実現しない。平和を想像したら、その平和を実現するために、一人ひとりが行動しなければならない。

**戦争のない世界を実現するため 憲法9条 を守ろう！
私たちの声と手で 戦争へ突き進む流れ を止めよう！**